

press release

広島県立美術館
リニューアル・オープン20周年記念展



彫金家 清水南山 *Nanzan Shimizu*

広島が生んだ近代金工の巨匠

The Master of Modern Metalwork from Hiroshima

まもなく開催！

開会式、主要作品解説、特別メニューなどの
情報を追加しました

会期 平成29(2017)年
1月6日(金)～2月12日(日)
会期中無休

開館時間 9:00～17:00
※金曜日は19:00まで、入館は閉館30分前まで
※1月6日は10:00開場

料金 一般 1100円 (900円)
高・大学生 700円 (500円)
小・中学生 400円 (200円)
※()内は前売・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる～ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)

 **広島県立美術館**
Hiroshima Prefectural Art Museum



【開会式について】

次の通り、「彫金家 清水南山 ー広島が生んだ近代金工の巨匠」の開会式を行います。
報道各位におかれましては、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。

日時／平成28年1月6日(金) 午前9時30分～

場所／広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー

内容／主催者紹介・挨拶、来賓紹介、協賛社紹介、テープカット、内覧

【開催趣旨】

広島県三原市出身の彫金家・清水南山(本名・亀蔵、明治8年～昭和23年)は、日本伝統金工の真髄を継承し、後世へと伝える上で大きく貢献しました。その技術は抜群であり、当時美術家の最高名誉とされた皇室技芸員や東京美術学校教授などを歴任しました。本展では、清水南山の格調高い彫金作品を中心に、その源泉となる装剣金工、南山の師である加納夏雄や海野勝珉、教え子の増田三男などの彫金作品を交え、日本画家・平山郁夫の大叔父にあたり自身優れた画家でもあった南山の絵画作品をあわせた約160点を展覧することにより、その業績を包括的に紹介します。

【展覧会の構成】

I 日本伝統の彫金を受け継ぐ

清水南山は明治24年に広島県の特選生として東京美術学校(明治22年開校、現東京藝術大学)に入学し、近代的教育制度のもとで伝統的な彫金技術を学びました。日本の彫金は刀剣を装飾する装剣金具により特徴的に発達し、維新後は国際的に高く評価されました。南山の師である加納夏雄や海野勝珉は装剣金工の出身で維新後は新たな需要に応え、新境地を開拓した名工で、南山はその技術と精神を直接受け継いだ最後の世代に当たります。本章では装剣金具や明治金工の優品、東京美術学校での教材や課題制作などを御紹介します。



海野勝珉《山姥金時図対花瓶》
真鍮地・金赤銅龍銀素銅象嵌 清水三年坂美術館蔵

press release

彫金家 清水南山

広島が生んだ近代金工の巨匠

The Master of Modern Metalwork from Hiroshima

【展覧会の構成】

Ⅱ 模索の時代

彫金と塑像を履修して優秀な成績を修め、明治35年に東京美術学校研究科を卒業しますが、先行するモデルなき時代、いかに生きるべきか模作を余儀なくされます。明治42年に香川県工芸学校に奉職しますが、大正4年に辞職して後1年半にわたり四国霊場巡礼及び奈良での古美術研究に身を



清水南山《大和古寺仏像建築写生帖》第1巻「法隆寺 付霊山寺」から
大正4-5年 各23.2×31.2cm
紙本鉛筆淡彩 東京藝術大学大学美術館

投じます。厳しい修行のような古美術研究を経て、不屈の精神を得、伝統尊崇の念と伝統継承の使命感を新たに示して進路を見極め、南山は再び上京して彫金の道を本格的に歩み始めます。この努力の足跡は1巻17mに及ぶ《四国八十八ヶ所巡礼写生巻》(上・下)や《大和古寺仏像建築写生帖》13冊で辿ることができます。

Ⅲ 彫金界の頂点への歩み

大正7年に大正天皇御即位奉祝のための《金装螺鈿御飾太刀拵》(司法省所管員一同献上)の金具制作に抜擢され、翌8年には東京美術学校教授に迎えられました。きっかけは奈良での古美術研究時代にその姿を注視していた法隆寺佐伯定胤管主から東京美術学校正木直彦校長への推薦でした。その後、昭和3年には昭和天皇御即位式用太刀拵の金具制作で再び腕をふるい、同9年には彫金家として最後の皇室技芸員(勅任官待遇の荣誉職)に任命され、翌10年には日本彫金会会長及び帝国美術院会員に推されるなど次々と道が開かれて、美術家として最高の荣誉に輝きました。本章では南山による法隆寺ゆかりの制作品や皇室依嘱の制作品を御紹介します。



清水南山《山水図対花瓶》昭和3年
清水三年坂美術館蔵

Ⅳ 時代の流れの中で～伝統と創造～

南山が生きた明治・大正・昭和前期は近代化や国際化が進展する激動の時代でした。工芸界においても日本古来の主題や技巧を重視する伝統派と西洋思想に影響された伝統よりも個性や現代性を重んじる革新派が対立し、革新派が力を増していきました。伝統派に属した南山は美術評論では厳しい批判にさらされる一方で、伝統に根差した確固たる信念と近代的な時代認識を併せ持つ公正さが信頼されて審査員や教師として重きをなしました。激動の時代に、日本伝統彫金の真髄を伝えることができた所以でしょう。南山は伝統とは「形式の模倣ではない」「内に潜むものの外へ向かっての現はれである」と述べました。このメッセージは本章で御紹介する南山及び教え子たちの作品から伝わってくることでしょう。



北原千鹿《置物「兜」》昭和4年頃
鍛造・青銅・彫金 京都国立近代美術館蔵

press release

彫金家 清水南山

広島が生んだ近代金工の巨匠

The Master of Modern Metalwork from Hiroshima

【主要作品解説】

としなが
清水南山《奈良利寿作 大森彦七図罽》(写し)
明治28 - 29年頃 鉄・金銀象嵌・高肉彫

とうそうかなぐ もこく
南山が在学当時の東京美術学校彫金科では、刀装金具を模刻することにより日本伝統の彫金技術を習得することに主眼が置かれました。本作は江戸中期の名工・奈良利寿による原作(重要文化財)を忠実に模刻したものです。鬼女を背負う大森彦七の姿を、鉄を彫り崩した高肉浮彫で表し、人物の肉身や衣の文様には金銀・赤銅など各種金属を象嵌し、原作に迫る出来栄えを示しています。



清水南山ほか《銀製御紋付 五獅子香炉》
大正10年 銀・彫金・鍛金・鑄造 法隆寺所蔵

南山は不惑の年に一念発起して約1年半の間、奈良で古美術研究に専心しました。その折に止宿した法隆寺とは生涯にわたり深い信頼に結ばれた交流を続け、法隆寺に関わる事業にもしばしば参画しています。本作はその代表的作例で、聖徳太子1300年御忌法要の中心となる荘厳具として皇室から法隆寺に下賜された香炉。毎年、聖徳太子御忌(聖霊会)における現役の儀式具ですが、展覧会では初出品となります。



けんびよう
清水南山《腕相撲図硯屏》
昭和11年 金・銀・銅・高肉彫・象嵌 京都国立近代美術館

改組第1回帝展に出品された本作は当時の評論で「モデリングの確実さと言う点では彫刻室にもあるまい」とその写実的で論理的な肉体表現が評価されました。南山は彫金のほか美術の基本的素養として狩野派の絵画に加え、西洋画法や塑造を修めており、その成果が表出されたものと言えるでしょう。本作は同年開催のベルリンオリンピック芸術競技大会にも日本代表として出品されました。



清水南山《銀製水瓶》
昭和12年 銀・彫金 広島県立美術館所蔵

象嵌・浮彫・透彫など各種彫金技法に秀でた南山ですが、最も得意としたのは毛彫(毛のように長く鋭い線刻)でした。本作はその妙技が遺憾なく発揮されたもので、当時の評論で「水の渦巻きも騒がしくないが、それでみて動的に脈搏つ彫りの力が表はされてゐる」と絶賛されました。孫娘の誕生記念に制作された本作は、荒波を乗り越える龍の姿に困難に打ち勝つ生きる力を託したものと思われま





【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、

1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

【関連イベント】

記念講演会「日本の彫金—技術とその魅力」（広島県立美術館友の会共催）

日時：1月22日（日）13:30～15:00（開場13:00） 講師：飯野一朗（東京藝術大学教授 工芸科彫金）

場所：地階講堂 ※聴講無料、申込不要、定員200名、当日先着順

ワークショップ「ヘラ押しレリーフで清水南山の猫を作ろう」

内容：清水南山が孫のために制作した《猫金具付小児用手提》の猫の金具を参考にしながら、金属の薄板を使ってレリーフを作成します。

日時：1月8日（日）10:00～12:00 講師：南 昌伸（広島市立大学芸術学部教授、金工家）

場所：3階ロビー 対象：小学校高学年以上 参加料：500円（材料費）

定員：20名（要事前申込、申込については下記参照）

美術講座「清水南山の生涯 天才は努力によって作られる—巨匠への道を辿る」

日時：1月14日（土）、29日（日） 各回13:30～14:30（開場13:00）

講師：宮本真希子（当館主任学芸員） 場所：地階講堂 ※聴講無料、申込不要、定員200名、当日先着順

ギャラリートーク

日時：1月6日・13日・20日・27日・2月3日・10日（金） 各回11:00～

講師：担当学芸員 会場：3階企画展示室 ※要入館券。申込不要。会場入口にお越しください。

アートと私の美味しい時間「三原の美味しい産物とイタリアン」

日時：1月20日（金）17:00～20:45頃（受付開始30分前、1階ロビーにて）

会場：3階企画展示室 & 1階レストラン Zona ITALIA in Centro

参加料：4,800円（税込）（特別展鑑賞券・ディナー・日本酒3杯、トーク含む）

酒蔵：株式会社酔心山根本店（三原市） 定員：50名（要事前申込、申込については下記参照）



【関連イベント】

ウェブレポーター大募集

日時:1月6日(金)17:00~18:30

受付:3階ロビー 場所:3階企画展示室

対象:インターネットで情報発信をされている一般の方(参加者は本展にご招待)

ロビーコンサート

1月7日(土) 12:00 ~ 出演:広島文化学園大学学生

1月8日(日) 12:00 ~ 出演:平井千香子(サクソ)、上田尾菜耶(ピアノ)

2月5日(日) 12:00 ~ 出演:福原一閑(篠笛)、岩村尚子(謡)

※いずれも申込不要。鑑賞無料。1階ロビーで行います。

申込方法(ワークショップ、アートと私の美味しい時間)

お電話により、参加を希望するイベント名と月日、お名前、電話番号などをお知らせください。先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。(申込電話番号:広島県立美術館082-221-6246)

【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

縮景園共通券 一般1200円 高・大学生800円 小・中学生500円

【県美×現美×ひろ美 相互割引】

「彫金家・清水南山展」の会期中、3館で相互割引を実施! 下記いずれかの特別展チケット(半券可)を受付にご提示いただくと、本展当日料金より100円割引。詳しくは各館にお問い合わせください。※1枚につき1名様限り、他の割引との併用はできません。

広島市現代美術館 (南区比治山公園1-1/TEL 082-264-1121)

世界が妙だ! 立石大河亞+横山裕一の漫画と絵画展 2016年10月28日~2017年1月22日

ひろしま美術館 (中区基町3-2[中央公園内]/TEL 082-223-2530)

宮廷画家ルドウーテの『美花選』展 2016年12月17日~2017年2月5日

ランス美術館展 2017年2月11日~2017年3月26日

press release

【特別メニュー】

1階 レストラン ゾーナ イタリア イン・チェントロ

山海の豊かな食材を誇る南山の出身地・三原。「三原産ハーブ地鶏と旬野菜の春菊ジュノーベーズパゲッティー」では、卵の香りがするほど新鮮なハーブ地鶏と寒さの中で甘みを増したカブや里芋をあっさりとした春菊のジュノーベーズソースでまとめました。デザートは、濃厚なチョコレートケーキ「オペラ」。彫金家の南山にちなみ、金をイメージした美しいオレンジソースと金箔で彩り、高級感のある一品に仕上げました。

3階 ティールーム 徒夢創家(トムソーヤ)

三原で明治38年に創業した平野園。今回の特別メニューでは平野園オリジナルの「抹茶ラテ」と「ほうじ茶ラテ」をご用意しました。抹茶は“茶席でも使える宇治抹茶”をテーマに、厳選された碾茶を石臼挽きにて仕上げ、ほうじ茶も香り立つ高級品を使用しています。ラテにするにはもったいないほどの素材の力をぜひ感じてください。また、お抹茶セットも期間限定でグレードアップ！ゴロツと大きな栗が入った羊羹をご用意しました。

【開催概要】

メインタイトル: 彫金家 清水南山 サブタイトル: 広島が生んだ近代金工の巨匠

展覧会英語名: Nanzan Shimizu :The Master of Modern Metalwork from Hiroshima

料金: 一般 1100(900)円 高・大学生700(500)円 小・中学生400(200)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所: 広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンチケット <http://7ticket.jp>)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン、フジなど。

開催クレジット:

主催 広島県立美術館、中国新聞社、イズミテクノ

後援 中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMIはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協賛 広島県信用組合、日本通運 広島支店

特別協力: 法隆寺、東京国立近代美術館、三原市教育委員会、郷土と南山先生を語る会

協力: 住吉大社、東京藝術大学大学美術館、宮内庁三の丸尚蔵館、清水三年坂美術館、造幣博物館、広島市立大学芸術資料館、広島城、ギャラリー竹柳堂、平安アート

問い合わせ先 広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail ke.yamamoto@nomura-g.jp (山本宛) 担当 学芸課 宮本真希子、事業推進課 山本恵子

彫金家 清水南山

広島が生んだ近代金工の巨匠

The Master of Modern Metalwork from Hiroshima



三原産ハーブ地鶏と旬野菜の
春菊ジュノーベーズパゲッティー



平野園オリジナル「ほうじ茶ラテ」